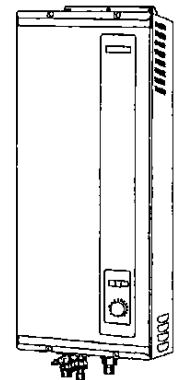


ガス給湯器

33-858型

型式名 UR-132D



取扱説明書

 大阪ガス

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。なお、
ご不明な点があればお買い求めの販売店
にお問い合わせください。

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社 大阪市西区千代崎3-2-95 電話 大阪 06(568)3200 〒550
南部支社 堺市住吉横町2-2-19 電話 堺 0722(38)1131 〒590
北部支社 高槻市藤の里町99-8 電話 高槻 0726(71)0361 〒569
東部支社 東大阪市稲葉2-3-17 電話 河内 0729(82)1131 〒578
兵庫支社 神戸市中央区東川崎町1-8-2 電話 神戸 078(360)3100 〒650
京都支社 京都市中央区烏丸御池梅屋町389 電話 京都 075(231)8151 〒604
奈良支社 奈良市学園北2-4-1 電話 奈良 0742(44)1111 〒691
和歌山支社 和歌山市本町1-5 電話 和歌山 0734(31)2481 〒640
兵庫西支社 姫路市神屋町4-8 電話 姫路 0782(85)2221 〒670
豊岡支社 豊岡市三坂町6-57 電話 豊岡 0796(23)2221 〒686
湖南支社 草津市遍分町字荒畑580-1 電話 草津 0776(62)5311 〒625
彦根支社 彦根市大東町12-11 電話 彦根 0749(22)3181 〒622
(長浜営業所) 長浜市南呉服町3-4 電話 長浜 0749(62)7171 〒628
本社・ガスビル
サービスセンター 大阪市中央区平野町4-1-2 電話 大阪 06(202)2221 〒541

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にして(火気に注意して)
もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯器をお求めいただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

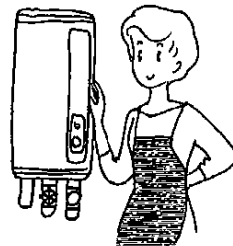
もくじ

- 特長・機能のご紹介 1
- 必ずお守りください 2
- 各部のなまえとはたらき 5
- 使用方法 8
- 初めてお使いいただくときに 6
- 給湯・シャワーをお使いのとき 7
- 凍結予防のしかた 8
- 点検・お手入れ 9
- 故障かな?と思ったら 10
- 寸法図 13
- 仕様 14
- 保管とアフターサービス 15

特長・機能のご紹介

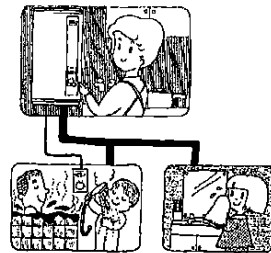
スリムなコンパクトタイプ

スリムボディなので場所をとらずに設置できます。



リモコン操作も可能

別売のリモコンを使用することにより、機器より離れた箇所でも湯温設定などができます。

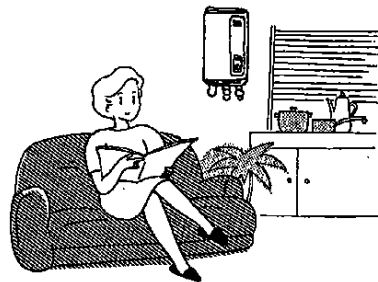


安定湯温でいつも快適

水温や水量が変化しても電子コントロール方式だから自動的にガス量を制御し、いつも安定した湯温が得られます。

換気いらずで部屋さわやか

外気を吸って、排気も外へ。続けてお使いになってもお部屋の空気はいつも清潔で安心です。



必ずお守りください

●使用ガス及び使用電源について

- 機器に貼付してある銘板に表示されているガス（ガスグループ）以外のガスでは使わないでください。
- 銘板に表示してある電源（電圧・周波数）以外の電源では使わないでください。

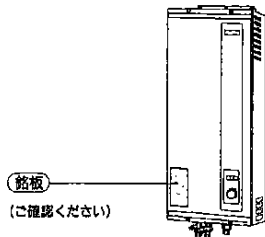
・ガスの種類には都市ガスとLPGガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

（銘板）

型式名
（ガスの種類およびグループ）
ガス消費量
製造年月および製造番号
製造業者名

●都市ガス用ISA

・転宅されたときにも、供給ガスの種類と機器銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。



・この機器はAC100V、60Hz用です。機器の銘板に表示してある電源（電圧・周波数）とお宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

●機器の設置

機器の設置・工事には、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

●火災予防について

機器の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。



●やけどのご注意

シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは、手で湯温を確認してからお使いください。
（瞬熱いお湯が出ることがありますのでご注意ください。）



●用途について

台所・シャワー・洗面などの給湯および風呂のお湯はり以外の用途には使用しないでください。

●ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉め、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

◀ガス元栓を閉める



連絡する▶

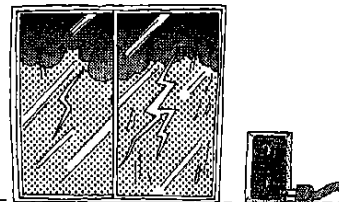


- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、電気機器に触れたり（スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。火や火花で引火し爆発事故をおこすことがあります。



●落雷のおそれがある時

- 落雷による一時的な過電流で、電子部局が故障することがありますので、雷が発生しているときは、ご使用を中止して、すぐに電源プラグを抜いてください。



- その後、雷が過ぎかかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

●市販の補助用具について

この機器の付属品・補助用具以外は使用しないでください。不完全燃焼などの原因になります。

●飲用にお使いのとき

機器に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

必ずお守りください

●異常時の処置について

使用中にふだんと違った状態になったときや、地震、火災の場合は、すぐ使用をやめて電源プラグを抜き、ガスの元栓を閉めてください。

●詳しくは10～12ページの「故障かな?と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。

●停電時の処置

●停電すると自動的にガスが止まり、燃焼が停止します。

●再通電してもすべてのスイッチは「切」の状態になっています。6～7ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

●断水時の処置

●断水時は給湯栓を閉めてください。操作部または別売部品のリモコンをお使いの場合は、リモコンの運転ボタンを「切」にしておいてください。

●再通水したときは6～7ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

●凍結に注意

冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため機器および配管内の水が凍って、機器や配管を破損することがあります。

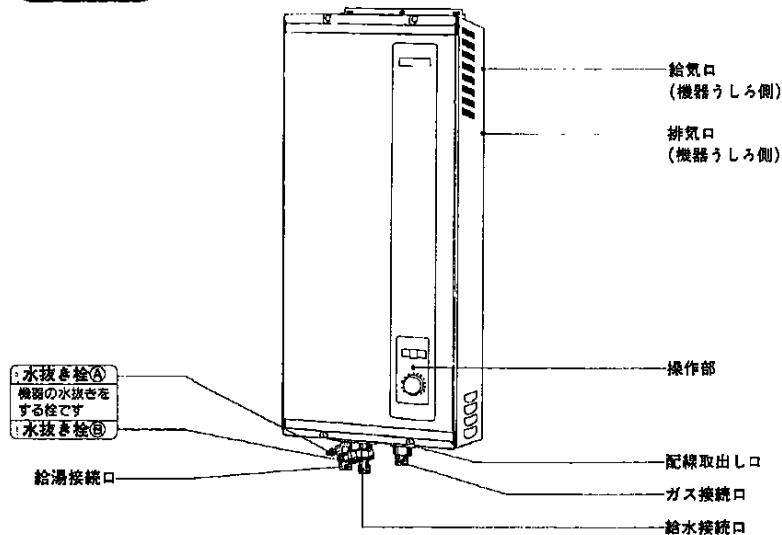
●詳しくは8ページの「凍結予防のしかた」の項にしたがって処置してください。

●長期間使用しない場合

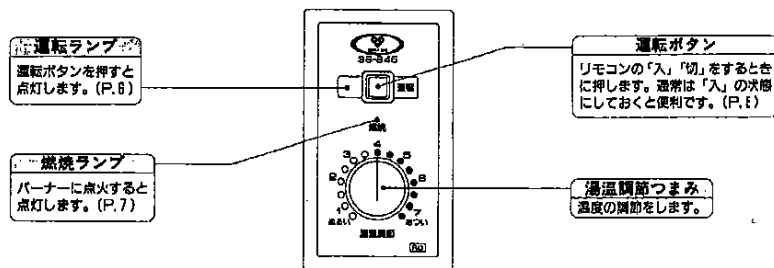
必ず、操作部の運転ボタン（別売リモコンをお使いの場合はリモコンの運転ボタン）を「切」にし、ガス元栓と給水元栓を閉めて電源プラグを抜いてください。また、機器の水抜きも行ってください。（水抜き方法は8ページを参照してください。）

各部のなまえとはたらき

機器本体



操作部



※本体操作部と別売リモコンは同形です

使用方法

初めてお使いいただくときに

●ご使用前の準備と確認

① 給水元栓を全開にする



② 給湯栓から水の出ることを確認



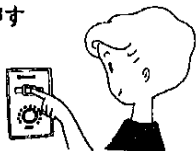
③ 電源プラグをコンセントに差し込む



④ ガス元栓を全開にする



⑤ 本体操作部の運転ボタンを押す

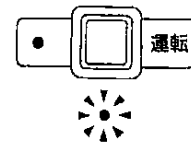
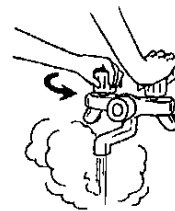


運転ランプ点灯

使用方法

給湯・シャワー (本体と(別売)メインリモコンの操作・形は同じです。)

●お湯の出しかた 給湯栓を開く(点火)



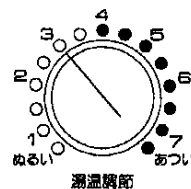
燃焼ランプ点灯

●湯温調節のしかた

湯温の設定は操作部の「湯温調節つまみ」で行います。

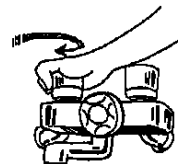
湯温調節つまみと温度の目安

1約33℃
3約42℃
7約75℃



湯温調節

●お湯の止めかた 給湯栓を閉じる(消火)



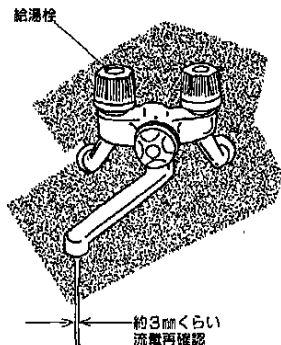
- ・自動的にバーナーが消え操作部の燃焼ランプ(赤)が消灯します。
- ・運転ボタンを「入」にしておきますと次回使用時は給湯栓の開閉だけでお湯がご利用できます。

凍結予防のしかた

- 凍結すると機器や配管が破損し高額な修理費がかかる場合があります。(有料)
- 凍結したまま使用されると機器に異常が生じる場合があります。凍結がとけた後、各部分の動作を確認の上、ご使用ください。

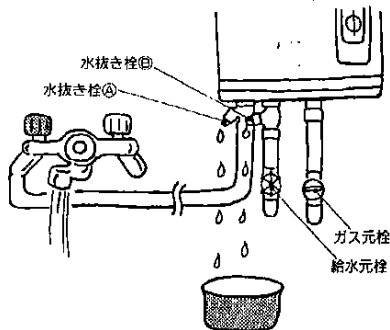
1 給湯栓から水を流す方法

- ①運転スイッチを「切」にし、ガス元栓を閉めてください。
 - ②給湯栓を開け1分間に約200cc以上(牛乳ビン1本くらい)(特に寒い日は多い目に)を流してください。
- ※流量が不安定なことがありますので、念のため30分くらい後にもう一度ご確認ください。



2 機器の水を抜く方法 (入居前や長期不在の場合)

- この方法は、給水配管の凍結予防はできませんが、凍結による機器破損を予防するのに最もよい方法です。次の操作手順で機器の水を抜いてください。
- 排水量は約500ccですから、これに見合った容器を用意してください。



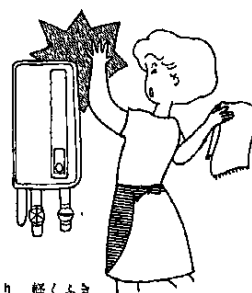
- ①電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②ガス元栓を閉じてください。
- ③給水元栓を閉じてください。
- ④すべての給湯栓を開いてください。
- ⑤水抜き栓⑤、水抜き栓⑥を左に回して外してください。

- 再度ご使用のときの手順
- ①水抜き栓⑤、水抜き栓⑥をしっかりと取り付けてください。
- ②給水元栓を開き、給湯栓から水が出るのを確認してください。
- ③必ずすべての給湯栓を閉じてから、6～7ページの「使用方法」にしたがってお使いください。

点検・お手入れ

●点検・お手入れの際のご注意

- ①点検・お手入れの前には、必ずガス元栓を閉じ機器が冷えてから行ってください。
- ②機器の前板などは、外さないでください。
[機器やリモコンは、絶対に外さないでください。]



●点検

- ①機器の上や周囲に、燃えやすいものを置いていませんか。
- ②機器や配管から、水漏れ、ガス漏れ、はありませんか。

●お手入れ

機器やリモコンの汚れは、やわらかい布を水にぬらして、かたく絞り、軽くふきとってください。ベンジン・シンナーなどは使わないでください。

ご注意

- 洗剤が残らないようにふきとってください。シンナーや、ベンジンなどでふかないでください。(本体の色、表示ステッカーの字が消えます。)
- 操作部やリモコンには、微塵にお湯や、洗剤などをかけないでください。

●点検・お手入れ後の確認

- ①点検・お手入れ後は機器が正常に作動しているか確認してください。
- ②万一異常燃焼、異常音、異臭を感じられたときは、お買い求めの販売店またはよりのお阪ガス支社にご連絡ください。

●定期点検のおすすめ

- ご使用上支障がない場合でも、安全により長くご使用いただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご相談ください。

故障かな?と思ったら

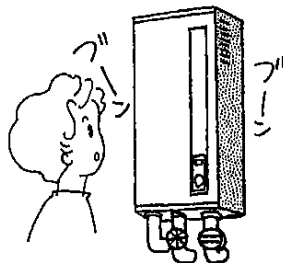
●こんな場合は異常ではありません。

①使いはじめ給湯配管の冷水を追い出すまで、しばらく設定温度のお湯が出ません。



②給湯栓を極端に絞りますと、バーナーが消火し、水に突ることがあります。

③給湯栓を閉じた後も送風機がしばらく(約5分間)まわっていますが異常ではありません。



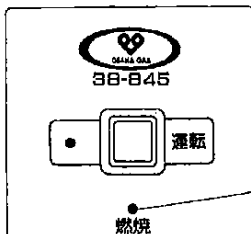
④ご使用後すぐに、再度お使いになるときは、湯温が不安定になることがあります。

⑤給湯栓を2ヵ所て同時に使用されますと湯量が少なくなることがあります。

⑥初回点火時や長時間使用しなかった後はガス配管中に空気が入っていることがあり、バーナーに着火しないときがあります。このときには燃焼ランプが点滅してお知らせしますので、いったん給湯栓を閉じて約5秒間待ち、再び給湯栓を開いてください。

⑦給湯栓を絞ると水の中の空気が分離して気ほうとなるためお湯が白くなることがあります。

⑧給湯栓を急に止めるとゴツンと音がすることがありますが、これは水が急に止まるために発生する音です。(ゆっくり操作してください)



燃焼ランプ(点滅)

(機器本体・メインリモコンも同様)

故障かな?と思われるなら、ただちに使用を中止し、修理・サービスをお申し付けになる前につきのことをお調べください。

こんなとき (現象)	燃焼ランプが 点滅しない	使用中に消火した、 消火しやすい	使用中、湯温が極端に 変動する	高温のお湯が出る	異常な音をたてて 燃焼する	過圧防止弁から常時 水が出る	処置方法	参照ページ
お調べ いただくこと (原因)								
ガス元栓の開きふじゅう ぶん。		○	○				電源を切ってからガス元栓を全開にする。	6
給水元栓の開きふじゅう ぶん。	○	○	○				給湯栓をいったん閉じてから給水元栓を全開にする。	8
水圧が適切でない。	低い	○	○				点検、修理を依頼する。 (他に原因がないとき)	—
	高い				○			—
水フィルターのつまり。	○	○	○				つまり除去又は点検、修理を依頼する。	9
断水している。	○	○					使用をいったん中止する。	4
凍結している。	○						解凍するまで使用を中止する。	8
バーナーの逆火。					○		点検、修理を依頼する。	—
湯温調節が適切でない。				○			「使用方法」参照。	7
給湯栓の開き不足。	○	○	○				給湯栓を全開にする。	—
水圧センサーの故障。	○	○					点検、修理を依頼する。	—
停電している。	○	○					「停電時の処置」参照。	4
湯温安全装置の作動。	○	○					「安全装置の種類とその働き」参照。	12

●このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店、またはお近くの大原ガスへご連絡ください。

●不完全な処置は事故のもとになりますので、修理は絶対にお客さま自身でなさらないでください。

故障かな?と思ったら

●安全装置の種類とその働き

①立消え安全装置

万一使用中バーナーの炎が消えたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

②過熱防止装置

使用中機器本体内の温度が異常に高くなったときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

③空だき安全装置

熱交換器が異常な温度上昇をしたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

④過昇温安全装置

この安全装置が作動しても故障ではありません。使用の際に、湯量を極端に絞ったり、水圧が低いときに湯温が過度に上昇することがあるため、過昇温防止装置を設けてあります。湯温が90℃以上になるとこの装置が働いて、自動的に消火します。

⑤漏電安全装置(漏電しゃ断器)

この機器は、万一漏電した場合に漏電安全装置が働いて使用できなくなります。この場合電源コードのプラグを一度抜き差ししてからご使用ください。再度同じ現象が起きた時は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

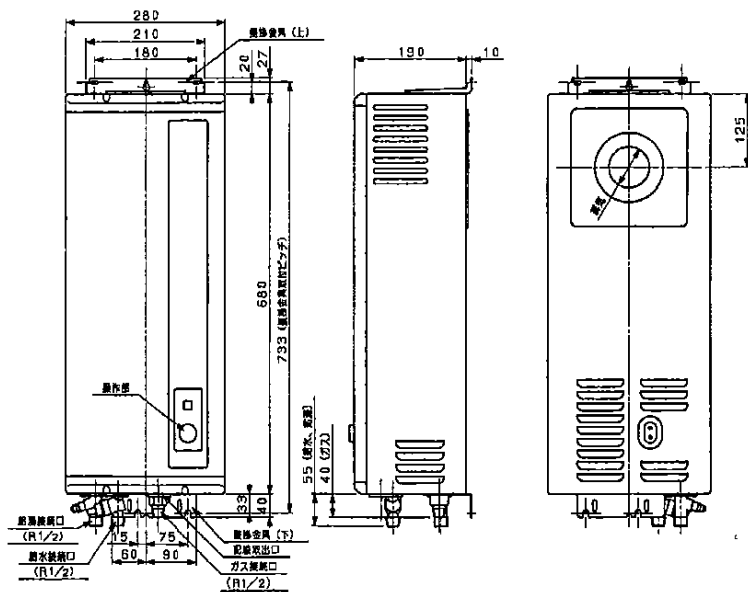
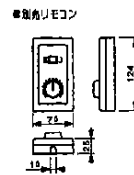
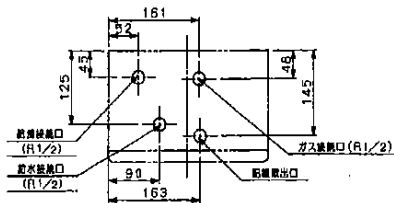
⑥過圧防止安全装置

機器の使用停止直後に熱交換器の余熱により熱交換器内の圧力が高くなり過圧逃し弁が作動して水がポタポタ出ることがありますが、機器の故障ではありません。(この様な場合には床面をぬらすので不都合が生じるときには、過圧逃し弁の排水処理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

⑦凍結防止装置

8ページの「凍結予防のしかた」の項をごらんください。

寸法図



ご注意

●空だき安全装置が作動する際には、機器の傾倒を防ぐため過圧防止安全装置(過圧逃し弁)が作動し高温の蒸気が噴出しますので、ご注意ください。

仕様

●仕様一覧表

項目	種別	33-858型
設置方式		屋内設置
外形寸法(mm)		高さ680×幅280×奥行190
重量(kg)		19
接続	ガス	15A(R1/P)
	給水	15A(R1/P)
	給湯	15A(R1/P)
	電気	AC100V
最大ガス消費量(kcal/h)		最大25,000～最小4,000kcal/h
消費電力(W)		58W
点火方式		連続スパーク点火、ダイレクト着火
必要使用水圧(kgf/cm ²)		0.8
出湯量(水温+25℃) (l/分)		13(湯水混合水栓で混合したとき)
最低作動水量(l/分)		3.0(作動水圧0.2kgf/cm ²)
安全装置		立消え安全装置(フレイムロッド方式) 過熱防止装置 空だき安全装置 過昇温安全装置 過圧防止安全装置 凍結予防装置(水抜き栓) 漏電しゃ断器
別売部品		メインリモコン……………38-845

保管とアフターサービス

サービスのお申し込み

●サービス(点検・修理)を依頼される前に
「故障かな?と思ったら」(10-12ページ)の項を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、
もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをご知らせください。

- 1.品名……………ガス給湯器
- 2.大阪ガス商品コード…機器の正面左下に貼付してあります。

(N) 33-858
大阪ガス株式会社

- 3.故障、異常の現象……できるだけ詳しく
- 4.お客様名、住所、電話番号、道順

転居されるとき

●ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保障期間内でも有料となります。

保証・補修について

●保証期間中は…
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について

お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後10年間です。